

# Advanced Server for UNIX

---

## リリース・ノート

Part Number: AA-R9P7F-TE

**2002 年 11 月**

ソフトウェア・バージョン: Advanced Server for UNIX バージョン  
5.1B 以降

オペレーティング・システム: Tru64 UNIX バージョン 5.1A 以降

本書では、Advanced Server for UNIX (ASU) ソフトウェアの新機能および拡張機能と問題点に関する情報を提供します。

---

© 2002 Hewlett-Packard Company

本書の著作権は日本ヒューレット・パッカード株式会社が保有しており、本書中の解説および図、表は日本ヒューレット・パッカードの文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

日本ヒューレット・パッカードは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、弊社は一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア(対象ソフトウェア)は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

COMPAQ, Compaq ロゴ, Digital ロゴは U.S. Patent and Trademark Office に登録されています。Alpha, AlphaServer, NonStop, TruCluster, および Tru64 は米国 Compaq Computer Corporation の商標です。

Microsoft, Windows および Windows NT は米国 Microsoft 社の登録商標です。Intel は米国 Intel 社の登録商標です。Motif, OSF/1, UNIX, The Open Group および X/Open は、The Open Group の米国ならびに他の国における商標です。

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

# 目次

## まえがき

## 1 Advanced Server バージョン 5.1B の概要

1.1	新機能 .....	1-1
1.1.1	パーソナル・ディスク共有の作成 .....	1-1
1.1.2	ユーザ・ホーム・ディレクトリの作成 .....	1-2
1.1.3	TruCluster メンバを隠す .....	1-2
1.1.4	プリント・ジョブの増加 .....	1-2
1.1.5	プリント・ジョブ名 .....	1-3
1.1.6	数字の Tru64 UNIX ユーザ名 .....	1-3
1.1.7	TruCluster Server のライセンス .....	1-3
1.1.8	セキュリティ・ログ情報 .....	1-4
1.2	コマンドの改善 .....	1-4
1.2.1	acladm コマンド .....	1-4
1.2.2	blobadm コマンド .....	1-5
1.2.3	elfread コマンド .....	1-5
1.2.4	lmshare コマンド .....	1-5
1.2.5	lmstat コマンド .....	1-6
1.2.6	lsacl コマンド .....	1-6
1.2.7	mapuname コマンド .....	1-6
1.2.8	nbstat および nbstatus コマンド .....	1-6
1.2.9	net perms コマンド .....	1-7
1.2.10	rmacl コマンド .....	1-7
1.2.11	samcheck コマンド .....	1-7
1.3	変更および修正事項 .....	1-7

1.3.1	NFS ディスク共有 .....	1-8
1.3.2	プリンタ・エントリの変更 .....	1-8
1.3.3	break oplock メッセージ .....	1-8
1.3.4	プリンタ・ドライバの変更 .....	1-8
1.3.5	nogrpuid マウントされたファイル・システムでの Tru64 UNIX グループの設定 .....	1-9

## 2 Advanced Server の問題点と制限事項

2.1	一般的な問題点と制限事項 .....	2-1
2.1.1	省略時の共有のアクセス権の復元 .....	2-1
2.1.2	Windows XP ワークステーションからの ASU サーバのブ ラウズ .....	2-1
2.1.3	ASU ドメイン・コントローラからの Windows XP ワーク ステーションへのログオン .....	2-2
2.1.4	Windows XP ワークステーション上での ASU サーバ名の 識別 .....	2-3
2.1.5	ASDU Password ユーティリティの実行 .....	2-3
2.1.6	多くのリッスン名を持つ ASU サーバの起動 .....	2-4
2.1.7	NIS およびエンハンスド・セキュリティとパスワードの同 期化 .....	2-4
2.1.8	Tru64 UNIX のグループおよびファイルの許可を無視する 方法 .....	2-4
2.1.9	大文字のファイル名とディレクトリ名 .....	2-4
2.1.10	SIA サブセットとユーザ・パスワード .....	2-4
2.1.11	NFS マウントされたデバイスでは rpc.lockd および rpc.statd デーモンが必要 .....	2-5
2.1.12	ファイルおよびディレクトリの複製の問題 .....	2-5
2.1.13	ブラウザの再起動 .....	2-6
2.1.14	ASU レジストリ破損の潜在的可能性 .....	2-6
2.1.15	core ファイルへの保護の設定 .....	2-6

2.2	ASU および TruCluster Server の問題点と制限事項 .....	2-6
2.2.1	ロッキング違反 .....	2-6
2.2.2	TruCluster Server バージョン 5.x のエラー・メッセージ .....	2-7
2.2.3	TruCluster のローリング・アップグレード .....	2-7
2.2.4	none モードへの再構成 .....	2-8
2.2.5	TruCluster クラスタへの ASU の再インストール .....	2-8
2.2.6	ASU サーバの再構成 .....	2-9
2.3	ASU サーバおよび Windows 2000 の問題点と制限事項 .....	2-9
2.3.1	Windows 2000 用の ASU の複製データベース .....	2-9
2.3.2	Windows 2000 ドメインでの ASU サーバの管理 .....	2-9
2.3.3	ASU のファイル複製 .....	2-10
2.3.4	ASU プリンタ共有の管理で Windows 2000 エクスプローラ がクラッシュする問題 .....	2-10
2.3.5	ASU と Windows 2000 シングル サインオン V2.0 のマシ ン・アカウント名の競合 .....	2-10
2.3.6	ASU と Windows 2000 シングル サインオン V1.0 のマシ ン・アカウント名の競合 .....	2-11
2.4	ネットワーク上の問題点と制限事項 .....	2-11
2.4.1	NetBEUI クライアントの接続が失われる問題 .....	2-11
2.4.2	トランスポート起動エラー .....	2-11
2.4.3	大規模なデータベースを持つ WINS サーバ .....	2-12
2.5	コマンドの問題点と制限事項 .....	2-14
2.5.1	dxaccounts コマンド .....	2-14
2.5.2	net perms コマンド .....	2-14
2.5.3	passwd コマンド .....	2-14
2.5.4	promote コマンド .....	2-14
2.5.5	アップグレード後に net コマンドが使用できない .....	2-15
2.5.6	asustat -n コマンドが誤ったクライアント接続数を報告す る .....	2-15

2.5.7	BDC で adduser コマンドを使用できない .....	2-15
2.5.8	sjistoeuc および euctosjis コマンドで正しく変換されない ファイルがある .....	2-16
2.5.9	asusetup コマンドは log コマンドとともに実行しない ...	2-16
2.5.10	net accounts /sync コマンドがドメイン・エントリ数を正 しく計算できない .....	2-16
2.6	ASU サーバおよび Windows 95 の問題点と制限事項 .....	2-16
2.6.1	信頼関係の設定 .....	2-16
2.6.2	Windows 95 からの ASU 共有ブラウジング時のエラー ...	2-17
2.6.3	ドイツ語のウムラウトを含む共有名のアクセス権の管理 .	2-17
2.6.4	ASU 共有内のファイルおよびディレクトリの名称変更また は削除 .....	2-17
2.7	プリンタの問題点と制限事項 .....	2-18
2.7.1	プリンタ共有の追加 .....	2-18
2.7.2	Lexmark PostScript ドライバ .....	2-18
2.7.3	ASU プリンタ共有の削除 .....	2-18
2.7.4	Windows 2000 ドライバの未サポート .....	2-19
2.7.5	HP PCL ドライバの未サポート .....	2-19
2.7.6	ASU のプリント・ジョブが CPU 時間の 100% を消費する	2-19
2.7.7	Internet Explorer から印刷する際のパフォーマンスの問 題 .....	2-19
2.7.8	ASU プリンタ・プロパティを表示できない .....	2-19
2.7.9	電子メールのプリンタ状態メッセージ .....	2-20

## 表

1	ASU バージョン 5.1B サブセット .....	vii
2	本リリースで追加された情報 .....	ix

## まえがき

本書では、Advanced Server for UNIX (ASU) バージョン 5.1B ソフトウェアについて、マニュアルに記載されていない新機能と拡張機能および問題点に関する情報を提供します。

### ASU の概要

Advanced Server for UNIX (ASU) バージョン 5.1B ソフトウェアには、旧リリースの全機能に加えて、本書で説明する新機能および拡張機能が含まれています。

ASU バージョン 5.1B ソフトウェアは、次のいずれの目的にも使用できます。

- ASU ソフトウェアを初めてインストールする。
- 以前のバージョンの ASU ソフトウェアをアップグレードする。

ASU バージョン 5.1B ソフトウェアへのアップグレードまたはそのインストールは、Tru64 UNIX バージョン 5.1A 以降のオペレーティング・システム・ソフトウェアが稼働しているシステムに、表 1 に示す ASU サブセットをインストールすることによって行います。

ASU ソフトウェアのアップグレードまたはインストールについては、『*Advanced Server for UNIX* インストール/管理ガイド』を参照してください。

表 1: ASU バージョン 5.1B サブセット

サブセット名	説明
ASUBASE540	ASU サーバ機能。
ASUTRAN540	ASU ソフトウェアがネットワーク通信のために使用する NetBEUI および NetBIOS over TCP/IP トランスポート。
ASUADM540	Nexus ツールの英語版。ASU ソフトウェアの管理に使用する Microsoft Windows ベースのインタフェース。
ASUADMJP540	Nexus ツールの日本語版。ASU ソフトウェアの管理に使用する Microsoft Windows ベースのインタフェース。

表 1: ASU バージョン 5.1B サブセット (続き)

サブセット名	説明
ASUMANPAGE540	ASU コマンドについて説明するリファレンス・ページの英語版。
ASUMANJP540	ASU コマンドについて説明するリファレンス・ページの日本語版。
ASUSIA540	Tru64 UNIX ユーザ認証のために ASU サーバを使用するように Tru64 UNIX オペレーティング・システムを構成する Tru64 UNIX のセキュリティ・メカニズム。このサブセットは、Tru64 UNIX バージョン 5.0 以降のオペレーティング・システム・ソフトウェアが稼働していて、エンハンスド・セキュリティを使用していないシステムでのみ使用可能。

対象読者

本書は、ASU ソフトウェアのインストール、構成、および管理を行うすべてのユーザを対象にしています。



## 新機能

第 1 章で説明しているすべての情報は、本リリースでの新機能です。表 2 には、第 2 章で説明している情報のうち、本リリースで新しく追加された情報を示しています。

表 2: 本リリースで追加された情報

項番号	タイトル
2.1.3 項	ASU ドメイン・コントローラからの Windows XP ワークステーションへのログオン
2.1.4 項	Windows XP ワークステーション上での ASU サーバ名の識別
2.1.5 項	ASDU Password ユーティリティの実行
2.2.1 項	ロッキング違反
2.3.3 項	ASU のファイル複製
2.5.2 項	<code>net perms</code> コマンドの使用
2.7.1 項	プリンタ共有の追加
2.7.2 項	Lexmark PostScript ドライバ

## 関連資料

ASU ソフトウェアについては、次のマニュアルに詳しい説明があります。

- 『*Advanced Server for UNIX* コンセプトとプランニング・ガイド』 — ASU ソフトウェアと環境の計画および管理に関する概念について説明します。
- 『*Advanced Server for UNIX* インストレーション/管理ガイド』 — ASU ソフトウェアと環境のインストール、構成、および管理の方法について説明します。

## 本書で使用する表記法

本書では、次の表記法を使用しています。

%

\$

パーセント記号は、C シェルのシステム・プロンプトを表します。ドル記号は、Bourne シェル、Korn

シェル，および POSIX シェルの場合の システム・プロンプトを表します。

#                      番号記号は root としてログインした場合のシステム・プロンプトを表します。

*file*                    イタリック体 (斜体) は，変数値，プレースホルダ，および関数の引数名を示します。

[ | ]  
{ | }

構文定義では，大カッコはオプションの項目を示し，中カッコは必須項目を示します。大カッコまたは中カッコの中の項目を縦線で区切っている場合は，そこに併記されている項目の中から 1 つの項目を選択することを示します。

...

構文定義では，水平の反復記号は，前の項目を 1 回以上繰り返して使用できることを示します。

cat(1)

リファレンス・ページの参照には，該当するセクション番号をカッコ内に示します。たとえば，cat(1) は，cat コマンドについての情報が，リファレンス・ページのセクション 1 に記載されていることを示します。

Return

四角で囲まれたキー名はユーザがそのキーを押すことを示します。

Ctrl/x

この記号は，スラッシュの前に指定されているキーを押しながら，スラッシュの後のキーまたはマウス・ボタンを押すことを示します。例中では，このようなキーの組み合わせは，四角あるいは大カッコで囲まれて示されます(たとえば，Ctrl/C)。

## Advanced Server バージョン 5.1B の概要

以降の各節では、本リリースにおける新機能、コマンドの改善、変更および修正事項について説明します。

### 1.1 新機能

以降の各項では、本リリースの新機能について説明します。

#### 1.1.1 パーソナル・ディスク共有の作成

新しいレジストリ・エントリ `CreatePersonalShare` が `SYSTEM/Current-ControlSet/Services/AdvancedServer/UserServiceParameters` の下に追加されました。`CreatePersonalShare` エントリは、ASU サーバが自動的に次のことを行うかどうかを指定します。

- Tru64 UNIX ユーザ・アカウントが作成されたかまたはドメイン・ユーザ・アカウントが Tru64 UNIX ユーザ・アカウントにマップされた場合にパーソナル・ディスク共有を作成する。
- ドメイン・ユーザ・アカウントが削除された場合、それに関連付けられているパーソナル・ディスク共有を削除する。
- ドメイン・ユーザ・アカウントの名前が変更された場合、それに関連付けられているパーソナル・ディスク共有の名前を変更する。

ASU サーバは、パーソナル・ディスク共有を、ユーザの UNIX ホーム・ディレクトリにマップされた隠しディスク共有として作成します。ASU サーバは、UNIX ホーム・ディレクトリが存在しないか、または同じ名前の既存のディスク共有がある場合には、パーソナル・ディスク共有を作成しません。隠しディスク共有は、ドル記号 (\$) で終わる名前を持ち、ASU サーバをブラウズしても表示されません。たとえば、`peter` という名前の Tru64 UNIX ユーザ・アカウントを作成すると、`peter` のホーム・ディレクトリにマップされた `peter$` という名前のパーソナル・ディスク共有が自動的に作成されます。ユーザは、共有名にドル記号を付加することにより、隠しディスク共有に接続することができます。

省略時の値は 0 (パーソナル・ディスク共有の作成，削除，または名前の変更を行わない) です。CreatePersonalShare エントリを有効にする場合には，CreateUnixUser エントリも有効にする (省略時の設定では有効) 必要があります。

### 1.1.2 ユーザ・ホーム・ディレクトリの作成

新しいレジストリ・エントリ CreateUnixHomeDirectory が SYSTEM/CurrentControlSet/Services/AdvancedServer/UserServiceParameters キーの下に追加されました。CreateUnixHomeDirectory エントリは，ASU サーバが，Tru64 UNIX ユーザ・アカウントを作成した場合に，そのユーザの Tru64 UNIX ホーム・ディレクトリを作成するかどうかを指定します。

Tru64 UNIX ユーザ・アカウントを作成して，ファイルおよびディレクトリに適切な Tru64 UNIX の所有権を割り当てたいが，ユーザにシステムへ直接ログインさせたくない場合には，Tru64 UNIX ホーム・ディレクトリを作成しないのは便利な方法です。

省略時の値は 1 (Tru64 UNIX ホーム・ディレクトリを作成する) です。

### 1.1.3 TruCluster メンバを隠す

新しいレジストリ・エントリ HideClusterMember が SYSTEM/CurrentControlSet/Services/AdvancedServer/Parameters キーの下に追加されました。HideClusterMember エントリは，ネットワーク コンピュータ・インタフェースおよび他のブラウザ機能で TruCluster のメンバが表示されるかどうかを指定します。ネットワーク コンピュータのインタフェースおよび他のブラウザ機能では，HideClusterMember エントリの値に関わらず，クラスタ別名が表示されます。

省略時の値は 0 (TruCluster メンバを隠さない) です。

### 1.1.4 プリント・ジョブの増加

Tru64 UNIX オペレーティング・システムでは，現在，1000 以上のプリント・ジョブをキューに登録できます。/etc/printcap ファイルの mj エントリに値を割り当てることにより，キューごとにプリント・ジョブの最大数を設定することができます。ASU サーバは，SYSTEM/CurrentControlSet/Services/AdvancedServer/Parameters

キーの下の新しいレジストリ・エントリ `MaxPrintJobs` を使用することによって、`mj` エントリの使用をサポートします。`MaxPrintJobs` エントリは、ASU サーバで作成された任意のクラス・キューに登録可能なプリント・ジョブの最大数を指定します。

`MaxPrintJobs` エントリは、キューが作成され、既存のキューに影響を及ぼさない場合に限って使用します。

省略時の値は 1000 プリント・ジョブです。

### 1.1.5 プリント・ジョブ名

新しいレジストリ・エントリ `MaxPrintJobName` が `SYSTEM/CurrentControlSet/Services/AdvancedServer/Parameters` キーの下に追加されました。`MaxPrintJobName` エントリは、プリント・ジョブ名の最大文字数を指定します。`MaxPrintJobName` エントリの値を超える文字は切り捨てられます。

省略時の値は 0 文字 (プリント・ジョブ名を切り捨てない) です。

### 1.1.6 数字の Tru64 UNIX ユーザ名

新しいレジストリ・エントリ `PreserveNumericUserName` が `SYSTEM/CurrentControlSet/Services/AdvancedServer/UserServiceParameters` キーの下に追加されました。`PreserveNumericUserName` エントリは、数字で始まるドメイン・ユーザ・アカウントを作成する場合に、頭に文字 `a` を付加して Tru64 UNIX ユーザ・アカウント名を作成するかどうかを指定します。

数字で始まる Tru64 UNIX ユーザ・アカウント名を作成するかまたはマップする場合には、このエントリを有効にすると便利です。

省略時の値は 0 (Tru64 UNIX ユーザ・アカウント名の前に文字 `a` を付加する) です。

### 1.1.7 TruCluster Server のライセンス

新しいレジストリ・エントリ `UseClusterLicensing` が `SYSTEM/CurrentControlSet/Services/AdvancedServer/Parameters` キーの下に追加されました。`UseClusterLicensing` エントリは、ASU

サーバが TruCluster Server マルチ・インスタンス・クラスタ内で構成されている場合に、クラスタ単位のライセンスを使用するかどうかを指定します。

省略時の値は 0 (クラスタ単位のライセンスを使用しない) です。

### 1.1.8 セキュリティ・ログ情報

ASU サーバは、ユーザが ASU サーバへのログインを試みたが、(そのアカウントが削除されたか、あるいは NIS データベースまたは Active Directory に到達できないために) マップされた Tru64 UNIX ユーザ名のパスワード・エントリを見つけることができない場合、セキュリティ・ログに次のメッセージを記録します。

```
The mapped UNIX user name passwd entry cannot be found
```

## 1.2 コマンドの改善

以降の各項では、本リリースで行われたコマンドの改善について説明します。

### 1.2.1 acladm コマンド

acladm コマンドは、見つかった無効なセキュリティ記述子について、より詳細なレポートを表示するようになりました。

acladm -C コマンドは、現在のバージョンでは、失われている標準の ACL を探します。標準の ACL が失われている場合、要求があれば、新しい標準の ACL を作成します。

acladm -T コマンドは、Creator Owner ACE を含む余分な ACL を削除します。

acladm コマンドに、-M オプション (move acl) と併用して、ACL ストアのバックアップ・コピーから ASU の ACL をリストアするための新しい -i オプションが追加されました。ASU の ACL をバックアップからリストアする際に、ASU サーバを停止する必要はありません。たとえば、バックアップから /usr/temp ファイルをリストアした場合に、対応する ASU の ACL をリストアしたいとします。この場合は、次の手順に従います。

1. /usr/net/servers/lanman/datafiles/acl ファイルをバックアップ・ファイルと同じ日付からリストアして、別のファイル名 (たとえば may10.acl) にします。

2. 次のコマンドを入力して、ASU の ACL をリストアします。

```
# acladm -M -i may10.acl -v /usr/temp
```

### 1.2.2 blobadm コマンド

blobadm -R -S コマンドとともに -v オプションを使用すると、レジストリ・キー名と一緒にレジストリ・キー blob レコードのオフセットとサイズが表示されます。

### 1.2.3 elfread コマンド

elfread には、次の 2 つの新しいオプションがあります。

- -u *user\_name* オプションを使用すると、特定のユーザによってログに記録されたイベントを選択することができます。
- -w *workstation\_name* オプションを使用すると、特定のワークステーションによってログに記録されたイベントを選択することができます。

### 1.2.4 lmshare コマンド

lmshare コマンドは、現在のバージョンでは、空白が含まれている共有名をサポートします。

lmshare には、次の新しいオプションがあります。

- -C オプションは、共有ファイルをチェックします。
- -L *sharename* オプションは、指定された共有に関する詳細な情報を表示して、Permissions フィールドのプリンタ・フラグをデコードします。
- -P オプションは、共有データベースから使用されていないディスク共有を取り除きます。存在していない Tru64 UNIX ディレクトリをポイントしている非 NFS ディスク共有は、使用されていないディスク共有と見なされます。
- -R オプションは、共有ファイルをチェックして修復します。
- -S は、共有レコード内の共有サブタイプを設定またはクリアします。これは、NFS 共有を正規のディスク共有に変換して、対応する NFS エントリが /etc/exports ファイルから削除された場合に自動的に削除されるのを防ぐのに便利です。これはまた、パーソナル共有を正規のディスク共有に変換して、ユーザ・アカウントが SAM データベー

スから削除された場合に対応するパーソナル共有が自動的に削除されるのを防ぐのにも便利です。

サブタイプは、NFS 共有に対しては `N`、パーソナル共有に対しては `P`、共有のサブタイプをクリア (空白に設定) するには一重引用符 ( `'` ) を指定します。

### 1.2.5 `lmstat` コマンド

`lmstat` コマンドに、ハッシュ・テーブル統計情報を表示する新しい `-h` オプションが追加されました。

`lmstat -l` コマンドは、本バージョンでは、共有メモリ・ロックを保持しているプロセス (存在する場合) の名前を表示します。

### 1.2.6 `lsacl` コマンド

`lsacl` コマンドには、次の新しいオプションがあります。

- `-i` オプションは、新しいオブジェクトの継承された ACL を表示します。
- `-d` オプションは、`-i` オプションとともに使用された場合、新しいオブジェクトがディレクトリ・オブジェクトであることを指定します。
- `-f` オプションは、`-i` オプションとともに使用された場合、新しいオブジェクトがファイル・オブジェクトであることを指定します。
- `-m` オプションは、本リリースではサポートされていません。

### 1.2.7 `mapuname` コマンド

`mapuname` コマンドには、次の新しいオプションがあります。

- `-g` オプションは、本リリースではサポートされていません。
- `-l` オプションは、マッピング (1 つまたは複数) を表示します。これは、省略時のオプションです。
- `-u` オプションは、マッピングが Tru64 UNIX ユーザ・アカウント名にだけ適用されることを指定します。これは、省略時のオプションです。

### 1.2.8 `nbstat` および `nbstatus` コマンド

以前は、次のコマンドを ASU サーバで入力すると、`No response for cluster_alias_name` というメッセージが表示されていました。現在で



は、このコマンドは、要求を受け取った TruCluster メンバの 1 つにデータが登録されている NetBIOS 名を表示します。

```
# nbstatus cluster_alias_name
```

以前は、次のコマンドを PC で入力すると、Host not found というメッセージが表示されていました。現在では、これらのコマンドでは、要求を受け取った TruCluster メンバの 1 つにデータが登録されている NetBIOS 名を表示します。

```
# nbtstat -a cluster_alias_ame
```

```
# nbtstat -A cluster_alias_ip_address
```

### 1.2.9 net perms コマンド

現在 net perms コマンドは、許可についてユーザまたはグループ名を変換できない場合、何も表示しないのではなく、内部名を表示します。これは、信頼が一時的に破壊されているか、または信頼される側のドメインのドメイン・コントローラがネットワークから切断されている場合に、許可が消えたという印象を回避します。

### 1.2.10 rmac1 コマンド

rmac1 コマンドは、現在のバージョンでは、Windows ではなく Tru64 UNIX から削除されたファイルおよびディレクトリの取り残された ACL を削除します。

### 1.2.11 samcheck コマンド

samcheck コマンドは、ドメイン・ユーザから Tru64 UNIX ユーザ名への標準のマッピングだけが失われているバックアップ・ドメイン・コントローラ (BDC) について、SAM データベースを修復します。

## 1.3 変更および修正事項

以降の各項では、本リリースにおける変更および修正事項について説明します。

### 1.3.1 NFS ディスク共有

以前のバージョンでは、ASU サーバは、NFS エクスポート・エントリについて更新情報を保守していませんでした。更新を考慮して、ASU サーバは、起動時に、各エクスポート・エントリについて、NFS ディスク共有を削除して再作成していました。このため、NFS 共有が一時的に利用不能になっていました。

本リリースでは、ASU サーバが起動すると、不必要に NFS 共有をまず削除することなく、ASU ディスク共有と NFS エクスポート・エントリとの同期をとります。エクスポート・エントリに対応するディスク共有がない場合、ASU サーバはディスク共有を作成します。エクスポート・エントリがもう存在しないか、またはサポートされない (root=0) 場合、ASU サーバは対応するディスク共有を削除します。NFS エクスポート・エントリの NFS アクセス許可が変更された場合には、ASU サーバは対応するディスク共有のアクセス権を更新します。

### 1.3.2 プリンタ・エントリの変更

ASU サーバが PC に接続されているプリンタを認識するように構成されている場合には、次のように `lprsetup.dat` ファイルのエントリを変更する必要があります。

- `clienttps` を `Compaq_Advanced_Server_ClientPS` へ
- `clienttxt` を `Compaq_Advanced_Server_ClientText` へ

### 1.3.3 break oplock メッセージ

サーバのデバッグ・ロギングが有効にされている場合は、正規の SMB コマンドと応答に加えて、現在では `break oplock` メッセージもログに記録されます。

### 1.3.4 プリンタ・ドライバの変更

以前のリリースでは、プリンタが共有されていない場合、ドライバが誤ったものになり、Windows クライアントから変更することも `net` コマンドを使用して変更することも不可能になっていました。

この問題は修正されています。

### 1.3.5 nogrpid マウントされたファイル・システムでの Tru64 UNIX グループの設定

ファイル・システムが `nogrp` オプションを指定してマウントされ、`UseUnixGroups` レジストリ・エントリが有効になっている (省略時の設定では無効) 場合、そのファイル・システム上に ASU サーバが作成するファイルおよびディレクトリには、マップされている Tru64 UNIX ユーザの省略時のグループ ID (`gid`) が割り当てられます。

ファイル・システムが `nogrp` オプションを指定してマウントされていないか、または `UseUnixGroups` レジストリ・エントリが無効になっている場合、ファイルまたはディレクトリは、親ディレクトリの `gid` を継承します。



## Advanced Server の問題点と制限事項

以降の各節で、本リリースの問題点と解決方法および制限事項について説明します。

### 2.1 一般的な問題点と制限事項

以降の各項で、一般的な ASU サーバの問題点と解決方法および制限事項について説明します。

#### 2.1.1 省略時の共有のアクセス権の復元

C\$ 共有などのような省略時の共有が削除されて再作成された場合、ACL が正しくないことがあります。acladm -O コマンドを入力して、省略時の ACL を復元する必要があります。

#### 2.1.2 Windows XP ワークステーションからの ASU サーバのブラウズ

Windows XP ワークステーションの Network Neighborhood インタフェースを使用して ASU サーバをブラウズしている場合には、ASU サーバの追加のリッスン名 (ある場合) ではなく、一次名を選択する必要があります。ASU サーバの追加のリッスン名を選択すると、次のエラー・メッセージが Windows XP ワークステーションに表示されます。

```
¥¥node_name is not accessible, you might not have permission to use this network resource.  
Contact the administrator of the server to find out if you have access permissions.
```

```
The network path was not found.
```

ASU サーバの追加のリッスン名は、asusetup ユーティリティを使用するか、または SYSTEM/CurrentControlSet/Services/Advanced-Server/Parameters/ExtraListenNames レジストリ・エントリの値を設定することにより指定します。

### 2.1.3 ASU ドメイン・コントローラからの Windows XP ワークステーションへのログオン

ユーザは ASU ドメイン・コントローラから Windows XP ワークステーションへログオンできず、次のエラー・メッセージが Windows XP ワークステーションに表示されます。

Windows cannot connect to the domain, either because the domain controller is down or otherwise unavailable, or because your computer account was not found. Please try again later. If this message continues to appear, contact your system administrator for assistance.

この問題を解決するには、Windows XP ワークステーションで次の変更を行います。

1. ローカル グループ ポリシーを編集して Autoenrollment を無効にします。次の手順に従ってください。
  - a. [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] をクリックして `gpedit.msc` を入力します。
  - b. Local Computer Policy\Computer Configuration\Windows Settings\Security Settings\Public Key Policies\Autoenrollment Settings を選択します。
  - c. [Autoenrollment Settings] プロパティ・ウィンドウから [Do not enroll certificates automatically] ボタンを選択して [OK] を選択します。
  - d. ローカル グループ ポリシー エディタを終了します。
2. 次の手順に従って、レジストリ・エントリ `REQUIRESIGNORSEAL` を 0 に設定します。
  - a. [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] をクリックして `regedt32` を入力します。
  - b. `HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Netlogon\Parameters\REQUIRESIGNORSEAL` を選択した後、プルダウン・メニューから [修正] を選択します。
  - c. [DWORD 値の編集] ウィンドウから、[値のデータ] フィールドに 0 を設定して [OK] を選択します。
3. Windows XP ワークステーションをリブートします。

---

## 注意

---

Windows XP ワークステーションが ASU ドメイン・コントローラに加わる場合、NetLogon system 5723 Error が ASU システム・イベント・ログに記録されることがあります。このイベントは無視してかまいません。詳細については、Microsoft Article Q310461 を参照してください。

---

### 2.1.4 Windows XP ワークステーション上での ASU サーバ名の識別

Windows XP ワークステーションでは、エクスプローラおよび Microsoft Word の [ファイル名を付けて保存] ウィンドウで、ASU ディスク共有は次のいずれかの方法で一覧表示されます。

```
$sharename on 'Advanced Server for Unix ($server)' on ($drive)
users on 'Advanced Server for Unix (josb84)' on (Y:)
```

[ファイル名を付けて保存] ウィンドウの省略時のサイズのために、ASU サーバ名が切り捨てられた結果、同じ名前でも異なる ASU サーバ上にあるディスク共有を識別するのが困難になることがあります。

この問題を解決するには、SrvComment レジストリ・パラメータの値を短い文字列に変更します。次の手順に従って、regconfig レジストリ・エディタを使用し、SrvComment レジストリ・パラメータの値を ASU に変更してください。行末のバックスラッシュ (\) は、そのコマンド行が次の行に続くことを示しています。コマンド全体を入力したら、Enter キーを押してください。

```
# regconfig SYSTEM/CurrentControlSet/Services/
Lanmanserver/Parameters SrvComment REG_SZ "ASU"
```

次のコマンドを入力して、ASU サーバを再起動します。

```
# net stop server
# net start server
```

### 2.1.5 ASDU Password ユーティリティの実行

Windows NT あるいは Windows 2000 Server または Professional が稼働しているシステムで ASDU Password ユーティリティを実行するには、

SyncUnixPassword レジストリ・エントリを無効 (省略時の設定) にする必要があります。

### 2.1.6 多くのリッスン名を持つ ASU サーバの起動

システムが 13 以上のリッスン名を持つ場合、`net start server` コマンドで、ASU サーバの起動に失敗したというエラー・メッセージが返されることがあります。実際のところ、ASU サーバは最終的には起動しますが、すべてのリッスン名がポストされる前に、`net start server` コマンドがタイムアウトになります。

### 2.1.7 NIS およびエンハンスド・セキュリティとパスワードの同期化

ASU サーバでは、ネットワーク情報サービス (NIS) およびエンハンスド・セキュリティの使用時に、パスワードの同期化 (SyncUnixPassword が有効) をサポートしません。

### 2.1.8 Tru64 UNIX のグループおよびファイルの許可を無視する方法

ドメイン・ユーザが ASU 共有リソースにアクセスするとき、省略時の設定では、ASU サーバは Windows NT のアクセス権を確認した後に、Tru64 UNIX のユーザおよびグループの許可を確認します。ASU サーバが Tru64 UNIX のユーザおよびグループの許可を確認しないようにするには、IgnoreUnixPermissions レジストリ値エントリを有効にします。ただし、UnixQuotas レジストリ値エントリが有効になっていると、IgnoreUnixPermissions レジストリ値エントリを有効にしても、ASU サーバは Tru64 UNIX のユーザおよびグループの許可を確認します。

### 2.1.9 大文字のファイル名とディレクトリ名

ASU 共有内のファイル名やディレクトリ名がすべて大文字で作成されていると、Windows エクスプローラで表示したときに最初の大文字しか見えません。

### 2.1.10 SIA サブセットとユーザ・パスワード

省略時の設定では、ドメイン・ユーザ・アカウントを作成すると、そのアカウントに対応する Tru64 UNIX ユーザ・アカウントのパスワード (通常、`/etc/passwd` ファイルに置かれています) が Nologin に設定されます。このため、このアカウントのユーザは、管理者がパスワードを設定するまで



Tru64 UNIX システムに対話形式でログインすることができません。ただし、SIA サブセットをインストールしてドメイン・ユーザ・アカウントを作成した場合には、そのアカウントのパスワードは `Nologin` に設定されますが、ユーザはドメインのユーザ名とパスワードを使って Tru64 UNIX システムに対話形式でログインすることができます。

#### 2.1.11 NFS マウントされたデバイスでは `rpc.lockd` および `rpc.statd` デーモンが必要

ASU `UseNfsLocks` レジストリ値エントリが有効に設定され (1 に設定)、ASU ソフトウェアを実行している Tru64 UNIX システムまたは NFS サーバ上で NFS ロックが有効に設定されていない (`rpc.lockd` および `rpc.statd` デーモンが起動されていない) 場合に、NFS マウントされたデバイスにアクセスすると、ASU ソフトウェアが機能停止したり、データが失われたりするおそれがあります。省略時の設定では、`UseNfsLocks` レジストリ値エントリは有効に設定されています。

#### 2.1.12 ファイルおよびディレクトリの複製の問題

`replicator` サービスは、次のような場合には、ファイルおよびディレクトリの複製を行いません。

- ツリーの最上位レベルのディレクトリ名に、ASCII 以外の文字が含まれている。

最上位レベルのディレクトリ名には、ASCII 文字だけを使用できます。ただし、ツリー内のサブディレクトリおよびファイルの名前には、ASCII 以外の文字を使用することができます。

- インポート・リストに複数のサーバを指定した。
- `repl.ini` ファイルに `integrity=tree` パラメータを設定した。
- 複製するファイルまたはディレクトリの名前が MS-DOS 8.3 命名規約に従っていない。
- 複製エクスポート・パスに小文字のデバイス名を指定した。

デバイス名は必ず `c:` になり、次の例のように、大文字で入力しなければなりません。

```
ExportPath = "C:¥usr¥net¥servers¥lanman¥shares¥asu¥repl¥export"
```

### 2.1.13 ブラウザの再起動

仮想メモリが不足したために、ブラウザ・プロセスを再起動しなければならない場合があります。

`net start` コマンドを入力したときに `BROWSER` が表示されない場合は、次のコマンドを入力して、ブラウザ・プロセスを再起動する必要があります。

```
# net start browser
```

### 2.1.14 ASU レジストリ破損の潜在的可能性

Tru64 UNIX システムが、たとえば停電などのために突然停止すると、ASU レジストリが破損することがあります。症状として、ASU サーバが起動できなくなります。

ASU レジストリの状態についての情報を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
# regcheck -C
```

破損した ASU レジストリを修復するには、次のコマンドを入力します。

```
# regcheck -R
```

### 2.1.15 core ファイルへの保護の設定

`/etc/sysconfigtab` ファイルの `proc` セクションで `enhanced-core-name` 属性が 1 に設定されている場合、ASU サーバは core ファイルに保護を設定することができません。属性値を変更する方法については、`sysconfig(8)` を参照してください。

## 2.2 ASU および TruCluster Server の問題点と制限事項

以降の各項で、ASU および TruCluster Server の問題点と解決方法および制限事項について説明します。

### 2.2.1 ロッキング違反

2 つのクライアントが、TruCluster の異なるメンバ上の同じファイルをオープンし、プログラムが暗黙の書き込みロックに依存している場合には、予期しないエラーが報告されることがあります。

ASU サーバは、省略時の設定では、状態を返した後、書き込みを実行します。書き込みが失敗すると、次の入出力操作でエラーが報告されます。Trucluster では、メンバ間のロックも遅延型であるため、予期しない結果が生じる可能性があります。

明示的なロックを使用するようにプログラムを変更できない場合には、WriteBehind レジストリ・エントリを無効にします。

次の手順に従って regconfig レジストリ・エディタを使用し、WriteBehind レジストリ・エントリを無効にしてください。行末のバックスラッシュ (\) は、そのコマンド行が次の行に続くことを示しています。コマンド全体を入力したら、Enter キーを押してください。

```
# regconfig SYSTEM/CurrentControlSet/Services/AdvancedServer/\
FileServiceParameters WriteBehind REG_DWORD 0
```

次のコマンドを入力して、ASU サーバを再起動します。

```
# net stop server
# net start server
```

## 2.2.2 TruCluster Server バージョン 5.x のエラー・メッセージ

次のコマンドを実行して、TruCluster Server バージョン 5.x のシングル・インスタンス・アプリケーションとして構成されている ASU サーバを起動すると、CAA request timeout! (CAA 要求タイムアウト) というエラー・メッセージが表示されます。

```
# caa_startup asu -c servername
```

このエラー・メッセージは無視してかまいません。ASU サーバは正常に起動されます。

## 2.2.3 TruCluster のローリング・アップグレード

ASU ソフトウェアおよび Tru64 UNIX バージョン 5.0A またはバージョン 5.1 のオペレーティング・システムを実行している TruCluster Server のメンバでローリング・アップグレードを実行するには、まず、ASU ソフトウェアをバージョン 5.0 ECO2 以降にアップグレードしたのち、Tru64 UNIX オペレーティング・システムのローリング・アップグレードを行います。

## 2.2.4 none モードへの再構成

ASU サーバをシングル・モードまたはマルチ・モードから none モードへ再構成している場合、`transports.ini` ファイルにはまだ複数のメンバ用の構成データが含まれています。クラスタがリブートすると、各ブート・メンバは `transports.ini` ファイルで対応する情報を見つけ、ASU サーバは、トランスポートを複数のメンバで実行したまま、すべてのメンバで起動しようとしています。

これを回避するには、エディタを使用して、`transports.ini` ファイルから、1 つのメンバとそれに対応するコントローラ情報を除き、すべてのエントリを削除します。たとえば、次の出力は、ASU サーバを none モードに再構成した後の `transports.ini` ファイルからのものです。ASU サーバを `server2` という名前のメンバでのみ実行したい場合は、`member_01`、`controller_01`、`member_03`、および `controller_03` を参照するすべての行を削除し、`member_02` および `controller_02` を参照する行だけを残します。この例では、アスタリスク (\*) で示す行を削除します。

```
[ member ]
* member_01=server1.compaq.com,server1
member_02=server2.compaq.com,server2
* member_03=server3.compaq.com,server3
[ tcpip ]
* controller_01=tu0
controller_02=tu0
* controller_03=tu0
[ netbeui ]
* controller_01=tu0
controller_02=tu0
* controller_03=tu0
```

## 2.2.5 TruCluster クラスタへの ASU の再インストール

ASU ソフトウェアを TruCluster Server クラスタに再インストールする場合に、ASU トランスポートが正しく停止しないことがあります。

この問題を解決するには、ASUBASE または ASUTRAN サブセットを削除する前に、すべてのクラスタ・メンバ上の ASU サーバおよびトランスポートを停止する必要があります。

各クラスタ・メンバ上で次のコマンドを入力して、ASU サーバおよびトランスポートを停止します。

```
# /usr/net/servers/lanman/scripts/asuase_stop
```

## 2.2.6 ASU サーバの再構成

asusetup ユーティリティを使用して ASU サーバ PDC をマルチ・モードからシングル・モードに再構成する場合、次のエラー・メッセージが表示されることがあります。

```
ERROR: An account for this machine cannot be created.
```

このメッセージが表示された場合は、asusetup ユーティリティを再実行してください。

## 2.3 ASU サーバおよび Windows 2000 の問題点と制限事項

以降の各項で、ASU サーバおよび Windows 2000 の問題点と解決方法および制限事項について説明します。

### 2.3.1 Windows 2000 用の ASU の複製データベース

Windows NT システムから Windows 2000 システムにアップグレードする前に、SAM データベースが ASU サーバから複製されている場合には、まず SAM データベースから Admin アカウントと Servers グループを削除する必要があります。

### 2.3.2 Windows 2000 ドメインでの ASU サーバの管理

Windows 2000 ドメインで ASU サーバを管理するには、ファイルの複製を除いて (2.3.3 項を参照)、Windows 2000 インタフェースを使用する必要があります。

ASU サーバ上のサービスを Windows 2000 の管理コンソール (MMC) を使って管理すると、次のような情報メッセージが表示される場合がありますが、これは無視してかまいません。

```
Configuration Manager: The machine selected for remote  
communication is not available at this time.
```

Windows 2000 のドメインで ASU サーバを BDC として構成している場合、信頼の管理は、すべて Windows 2000 ドメイン・コントローラ上で行わなければならない。ASU BDC 上で、信頼を管理するための net コマンドを実行すると、そのコマンドは失敗して、次のようなエラー・メッセージが表示されます。

```
# net trust ntdomain password /allow /domain:w2kdomain
```

```
Access Denied
```

```
# net trust ntdomain password /add
```

```
Error 87
```

```
Parameter is incorrect.
```

### 2.3.3 ASU のファイル複製

Windows 2000 の File Replication Service の大幅な変更により、Windows 2000 Microsoft 管理コンソール (MMC) または Windows 2000 上の ASTOOLS ディスク共有の `srvmgr` インタフェースを使用して、ASU のファイル複製を構成できません。

ASU のファイル複製を構成するには、Windows NT `srvmgr` インタフェース、または Windows NT 上の ASU ASTOOLS ディスク共有の `srvmgr` インタフェースが使用できます。

### 2.3.4 ASU プリンタ共有の管理で Windows 2000 エクスプローラがクラッシュする問題

Windows NT または Windows 2000 が提供するドライバを使用するように構成されていない ASU プリンタ共有を Windows NT または Windows 2000 から管理しようとする、Windows 2000 エクスプローラがクラッシュします。

この問題を回避するには、ASU プリンタ共有を `ASU net share` コマンドで作成しないで、Windows NT または Windows 2000 から作成します。

### 2.3.5 ASU と Windows 2000 シングル サインオン V2.0 のマシン・アカウント名の競合

Tru64 UNIX システムで ASU バージョン 5.1A 以降と Windows 2000 シングル サインオン (SSO) V2.0 を実行する場合、ASU サーバ名はそのホスト名と同じにすることはできません。この問題は SSO V1.0 にも当てはまりますが、ASU バージョン 5.1A 以降と SSO V2.0 では、解決方法が異なります。

SSO ソフトウェアは、Tru64 UNIX システムのホスト名に一致する Active Directory にマシン・アカウントを作成します。ASU サーバもホスト名を ASU サーバ名として使用する場合 (省略時の設定どおり)、SSO ソフトウェアで作成されたアカウントを上書きして、SSO の機能性に障害が生じます。この障害を回避するには、`asusetup` コマンドを実行し、ホスト名と異なっていて、環境内のどのサーバ名とも競合しない ASU サーバ名を選択します。

asusetup コマンドで追加のリッスン名の入力を要求するプロンプトが表示された場合は、Tru64 UNIX ホスト名を入力します。これにより、ユーザは、ASU サーバ名としてホスト名を使用することにより、ドライブを共有にマップできるようになり、マシン・アカウントの競合は起こりません。

### 2.3.6 ASU と Windows 2000 シングル サインオン V1.0 のマシン・アカウント名の競合

Tru64 UNIX システムで ASU バージョン 5.1A 以降と Windows 2000 シングル サインオン (SSO) V1.0 を実行する場合、ASU サーバ名はそのホスト名と同じにすることはできません。

SSO ソフトウェアは、Tru64 UNIX システムのホスト名に一致する Active Directory にマシン・アカウントを作成します。ASU サーバもホスト名を ASU サーバ名として使用する場合 (省略時の設定どおり)、SSO ソフトウェアで作成されたアカウントを上書きして、SSO の機能性に障害が生じます。

この問題を回避するには、SSO ソフトウェアを構成する際に、マシン・アカウント名として Tru64 UNIX システムのホスト名を使用しないでください。

## 2.4 ネットワーク上の問題点と制限事項

以降の各項で、ネットワーク上の問題点と解決方法および制限事項について説明します。

### 2.4.1 NetBEUI クライアントの接続が失われる問題

これは、802.2 サービス・クラスを実装したほとんどのクライアントで起きる問題です。NetBEUI クライアントでも、一部の高速 SMP サーバとのリンクが失われる場合があります。この問題は、順不同のパケットをクライアントに送れるサーバの登場により、さらに複雑さを増しています。

Abort, Fail, Retry? というメッセージを受け取ったら、retry ボタンをクリックして、リンクを再度確立してみてください。それでも問題が解決しない場合には、リンクを強制終了して、クライアントとサーバで TCP/IP を使用するように構成を変更してください。

### 2.4.2 トランスポート起動エラー

ASU ソフトウェアをアップグレードした後に次のメッセージが表示された場合は、システムを再ブートしてください。

Open of knbtcp driver failed: Error in protocol

### 2.4.3 大規模なデータベースを持つ WINS サーバ

大規模な WINS 環境では、WINS サーバに名前を登録するのに長い時間を必要とする場合があります。ASU サーバは、この遅延を、WINS サーバとの接続が失われたものと思い込み、次のメッセージをシステム・ログ・ファイル (/var/adm/messages) に書き込みます。

```
knb: Contact lost with WINS server nn.nn.nn.nn
```

メッセージに含まれる *nn.nn.nn.nn* は、WINS サーバの TCP/IP アドレスを示しています。

この問題が ASU サーバの動作に支障をきたすことはありませんが、名前解決に WINS だけを使用しているクライアントが ASU サーバに接続しようとする、問題が起こります。ASU サーバは、ASU サーバ NetBIOS 名を WINS サーバに登録しようとします (省略時の設定では 4 分おき)。この試みは、すべての ASU サーバ名が登録されるか、または接続が失われるまで続きます (いずれにしても同じプロセスが繰り返されることになります)。

接続が失われる問題が定期的に発生する場合は、`/etc/sysconfigtab` ファイルに格納された以下の WINS クライアント・パラメータを変更することもできます。ただし、省略時の値を変更することは推奨していません。

パラメータ	機能	省略時の値
knbretrycontact	TWINS サーバとの接続を次に試みるまでのタイムアウト (ミリ秒単位)	240000 (4 分)
knbquerytimeout	名前照会を次に試みるまでのタイムアウト (ミリ秒単位)。このパラメータ値を変更すると、ブロードキャストと WINS を使用して行うすべての名前照会に影響する。	500 (0.5 秒)
knbqueryretries	再試行の回数	3



パラメータ	機能	省略時の値
knbwinsquerymult	WINS を使った照会に適用されるタイムアウトの乗数	4 照会のタイムアウトと乗数に省略時の値を適用すると、WINS を使った照会では、タイムアウトが2秒になる (0.5 秒 x 4)。
knbignorewinsavailable	照会を行う際に WINS サーバとの接続を無視するかどうかの指定	True (1); WINS サーバとの接続が失われている場合でも、名前の照会は WINS サーバに送られる。

WINS クライアント・パラメータを変更するには、次の手順に従います。

1. 次のコマンドを実行して ASU サーバを停止させます。

```
# net stop server
```

2. 変更するパラメータ用の stanza フォーマット属性ファイルを作成します。たとえば、knbretrycontact パラメータ用の stanza フォーマット属性ファイルを作成し、WINS サーバへの接続を再試行するまでのタイムアウトを 300000 (5 分) に変更するときは、次のように入力します。

```
# cat > knbretrycontact.stanza
knbtcp:
knbretrycontact = 300000
^D
```

3. 次のコマンドを実行して、この属性を /etc/sysconfigtab ファイルにマージします。

```
# sysconfigdb -a -f knbretrycontact.stanza knbtcp
```

sysconfigtab ファイルに knbretrycontact パラメータがすでに存在する場合には、パラメータを追加する -a フラグではなく、パラメータを更新するための -u フラグを使用します。

4. 次のコマンドを実行して ASU サーバを再起動します。

```
# net start server
```

## 2.5 コマンドの問題点と制限事項

ここでは、コマンドに関する問題とその解決方法および制限事項について説明します。

### 2.5.1 dxaccounts コマンド

`dxaccounts` コマンドを使用して、49 文字以上の記述を持つアカウントを変更することはできません。

組み込みの ASU Guest アカウントには、Built-in account for guest access to the computer/domain という 49 文字以上の省略時の記述があります。ASU の Guest アカウントを変更するには、`net user` コマンドまたはドメイン ユーザー マネージャ GUI を使用します。

### 2.5.2 net perms コマンド

`net perms` コマンドは、ファイルまたはディレクトリの ACL に削除されたユーザまたはグループの ACE が含まれる場合、次のメッセージを表示します。

```
Error 13 has occurred.  
The data is invalid.
```

この問題を解決するには、`acladm -U` コマンドを入力して、削除されたユーザまたはグループの ACE を除去します。

### 2.5.3 passwd コマンド

ASU SIA サブセットがインストールされたシステムでは、Tru64 UNIX `passwd` コマンドの動作は確実ではなく、ヒストリ機能は動作しません。ASU SIA サブセットがインストールされたシステムで ASU ユーザ・アカウントのパスワードを変更するには、`net password` コマンドまたは Microsoft のユーザー マネージャを使用します。

### 2.5.4 promote コマンド

`promote` コマンドを使用して PDC を降格したのちに、`asusetup` コマンドを入力して構成を変更しないでください。そのようにすると、ASU サーバが未確定の状態のままになります。

`promote` コマンドの使用方法についての詳細は、`promote(8)` を参照してください。

### 2.5.5 アップグレード後に `net` コマンドが使用できない

ASU ソフトウェアのアップグレード時に、シェル・パスが変更されて、`/usr/bin` パスが消失することがあります。その結果、`net` コマンドが使用できなくなります。C シェルを使用している場合には、`rehash` コマンドを使用して、パスを復元してください。

### 2.5.6 `asustat -n` コマンドが誤ったクライアント接続数を報告する

ASDU-MCS-CLIENT の PAK (Product Authorization Key) がインストールされているシステムでは、`net session` コマンドが入力された後に、`asustat -n` コマンドで表示されるクライアント接続の数が誤っています。

クライアント接続の正しい数を表示するには、`asustat -L` コマンドを使用してください。

### 2.5.7 BDC で `adduser` コマンドを使用できない

Tru64 UNIX バージョン 5.0 以降のオペレーティング・システムが稼働し、ASU の BDC として構成されているシステムでは、対応するドメイン・ユーザ・アカウントを持つ Tru64 UNIX ユーザ・アカウントを `adduser` コマンドで作成することはできません。アカウントを作成するには、`/usr/bin/X11/dxaccounts` GUI を使用するか、または `useradd` コマンドを `-D pc_synchronize=0` オプション付きで使用します。たとえば、ユーザ名が `peter` の Tru64 UNIX ユーザ・アカウントとドメイン・ユーザ・アカウントを、`useradd` コマンドと省略時の値を使って作成するには、次のコマンドを入力します。

```
# useradd -D pc_synchronize=0
```

```
# useradd peter
```

`useradd` コマンドについての詳細は、`useradd(8)` を参照してください。

## 2.5.8 sjistoeuc および euctosjis コマンドで正しく変換されないファイルがある

sjistoeuc および euctosjis コマンドでは、MS-DOS から UNIX フォーマットに変換する際に、日本語のユーザ定義文字が正しく変換されません。

変換したいファイルに日本語のユーザ定義文字が含まれる場合には、ud および iconv コマンドを使用して変換するようにしてください。たとえば、ファイルを MS-DOS から UNIX フォーマットに変換し、文字のエンコーディングを SJIS から EUC に変換するには、次のコマンドを入力します。

```
# ud -u sjis.txt | iconv -f SJIS -t eucJP > euc.txt
```

ファイルを UNIX から MS-DOS フォーマットに変換し、文字のエンコーディングを EUC から SJIS に変換するには、次のように入力します。

```
# ud -d euc.txt | iconv -f eucJP -t SJIS > sjis.txt
```

## 2.5.9 asusetup コマンドは log コマンドとともに実行しない

asusetup プロシージャからの出力のログを取りたい場合は、asusetup コマンドと一緒に log コマンドを使用するのではなく、script コマンドを使用してください。

## 2.5.10 net accounts /sync コマンドがドメイン・エントリ数を正しく計算できない

ドメインに多数の Windows NT ワークステーションが含まれている場合、net accounts /sync コマンドはエントリの数を正しく計算できません。Microsoft 社はこの問題を修正するために、Windows NT 4.0 Service Pack 4 でホット・フィックス (Q182441) を発行しています。

## 2.6 ASU サーバおよび Windows 95 の問題点と制限事項

以降の各項で、Windows 95 システムから ASU サーバを管理する際に起こる問題とその解決方法および制限事項について説明します。

### 2.6.1 信頼関係の設定

Windows 3.x、Windows for Workgroups、または Windows 95 ソフトウェアが稼働しているシステム上で Windows クライアント・ベースの管理インタフェース (Nexus ツール) を使用して、ASU サーバと Windows NT サーバの

間に信頼関係を設定することができます。ただし、これらのインタフェースでは、リモートの信頼される側のドメインにログインしたり、信頼関係を検証したりすることはできません。

Windows クライアント・ベースの管理ツールについての詳細は、『*Advanced Server for UNIX* インストレーション/管理ガイド』を参照してください。

### 2.6.2 Windows 95 からの ASU 共有ブラウジング時のエラー

Windows 95 ソフトウェアでは、スペルは同じであるが、一方が大文字でもう一方が小文字のファイル名またはディレクトリ名を持つ ASU 共有をブラウズすると、次のようなエラー・メッセージが表示されます。

```
Drive:¥directory is not accessible  
This folder was moved or removed.
```

ファイル名やディレクトリ名の大文字/小文字だけが異なっている場合は、名前を変更してください。

### 2.6.3 ドイツ語のウムラウトを含む共有名のアクセス権の管理

Windows 95 ソフトウェアが稼働しているシステム上で Windows エクスプローラを使用して、名前にドイツ語のウムラウトが含まれる共有上のリソースのアクセス権を管理することはできません。これらの共有のアクセス権を管理するには、Windows ネットワーク コンピュータのインタフェースを使用する必要があります。

Microsoft 社は Windows 95 ソフトウェアで Unicode をサポートしていないことを認めていますが、解決策を提供する予定はありません。

### 2.6.4 ASU 共有内のファイルおよびディレクトリの名称変更または削除

ASU ソフトウェアが、US の英語ロケール (en\_US.ISO8859-1) またはイギリスの英語ロケール (en\_GB.ISO8859-1) で構成されている場合、英語でない小文字を含む ASU 共有にあるファイルおよびディレクトリについて、Windows 95 ソフトウェアを実行しているシステム上の Windows エクスプローラで名前を変更したり削除したりすることはできません。

この問題を解決するには、lanman.ini ファイルの lmxserver セクションにある lang および msdoscodepage パラメータを、次の表に従って設定してください。

ロケール	lang パラメータ	msdoscodpage パラメータ
en_US.ISO8859.1 (U.S.の英語)	de_DE.ISO8859-1	cp437
en_GB.ISO8859.1 (イギリスの英語)	de_DE.ISO8859-1	cp850

## 2.7 プリンタの問題点と制限事項

以降の各項で、プリンタに関する問題と解決方法および制限事項について説明します。

### 2.7.1 プリンタ共有の追加

ASU レジストリが削除されているが、PRINT\$ ディスク共有内のデバイス・ドライバ・サブディレクトリが削除されていない場合、ASU サーバではプリンタ共有を追加することができません。

この問題を解決するには、PRINT\$ ディスク共有内のすべてのファイルを削除した後、ASU プリンタ共有を削除して再作成します。

### 2.7.2 Lexmark PostScript ドライバ

Optra S 4250 用の Windows 2000 Lexmark PostScript ドライバは、ASU サーバ上にインストールされません。

この問題を解決するには、ドライバをローカルにインストールします。

### 2.7.3 ASU プリンタ共有の削除

ASU プリンタ共有を削除するために、Tru64 UNIX の lprsetup コマンドを使用したり、/etc/printcap ファイルを編集してはなりません。プリンタ共有を削除するには、clsetup コマンドを使用するか、または次のように入力します。

```
# net share sharename /delete
```

net コマンドについての詳細は、『*Advanced Server for UNIX* インストレーション/管理ガイド』を参照してください。clsetup コマンドについての詳細は clsetup(8) を参照してください。

#### 2.7.4 Windows 2000 ドライバの未サポート

Windows 2000 プリンタ・ドライバの中には、ASU サーバがサポートしていない Windows 2000 サーバの機能を使用するために、ASU サーバにインストールできないものがあります。

#### 2.7.5 HP PCL ドライバの未サポート

Hewlett-Packard (HP) Windows NT および Windows 2000 PCL ドライバの中には、ASU サーバが提供していないデバイス・モード情報を ASU サーバから受信することを期待するドライバがあります。

PCL ドライバの代わりに HP PostScript ドライバを使用してください。

#### 2.7.6 ASU のプリント・ジョブが CPU 時間の 100% を消費する

vmstat コマンドからの情報に、印刷で CPU 時間の 100% が使用されていると示されている場合は、/usr/net/servers/lanman/spool/lmshpoolmap.\* ファイルを削除してください。これらのファイルは、ASU サーバが必要時に作成します。

#### 2.7.7 Internet Explorer から印刷する際のパフォーマンスの問題

Internet Explorer 4.0 を使用する Windows ユーザは、ASU DisableUpLevelPrinting 値エントリが有効に設定されているシステム上のダウン・レベル・プリンタに印刷した後、ネットワーク・トラフィックが増加したことに気づくことがあります。省略時の設定では、このエントリは無効に設定されています。ネットワーク・トラフィックの増加は、Internet Explorer が印刷ジョブに関する情報を繰り返し要求することによる周期的なもので、これは、ユーザが Internet Explorer を停止するまで続きます。

この問題は、Microsoft 社により Internet Explorer Version 4.0 Service Pack 1 で修正されています。

#### 2.7.8 ASU プリンタ・プロパティを表示できない

ASU プリンタ共有のために、Windows NT ディストリビューション・メディアを使用して、Windows NT クライアントからドライバをインストールすると、表示されるプリンタのプロパティは ASU プリンタのプロパティではなく、Windows NT ローカルのプロパティになります。

### 2.7.9 電子メールのプリンタ状態メッセージ

Windows 95 プリント・ドライバには、プリンタに状態メッセージを送信するように指示する命令が含まれているため、Windows 95 システムのユーザは、DIGITAL または Compaq プリントサーバでジョブを印刷すると、電子メールのメッセージを受信することがあります。

電子メールのメッセージを送信しないようにプリントサーバ・ソフトウェアを構成することもできます。



# マニュアルに対するご意見

## Advanced Server for UNIX

リリース・ノート

AA-R9P7F-TE

弊社のマニュアルに関して、ご意見、ご要望、または内容の不明確な部分など、お気づきの点がございましたら、下記にご記入の上、弊社社員にお渡しくださるようお願い申し上げます。

マニュアルの採点：

	大変良い	良い	普通	良くない
正確さ(説明どおりに動作するか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
情報量(十分か)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
分かり易さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マニュアルの構成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
図(役立つか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
例(役立つか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
索引(項目の検索性)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ページ・レイアウト(情報の検索性)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

内容の不明確な部分がありましたら、以下にご記入ください：

ペー ジ


その他お気づきの点がございましたら、以下にご記入ください：


ご使用のソフトウェアのバージョン： \_\_\_\_\_

貴社名/部課名 \_\_\_\_\_

御名前 \_\_\_\_\_

記入日 \_\_\_\_\_

(注) 当用紙を受け取った弊社社員は、すみやかに下記にお送りください。

ビジネスクリティカルシステム統括本部 **BCS** 技術本部 **Alpha** ソフトウェア技術部